



JR四国労組  検索

# JR連合 第20回青年女性役員研修会

第20回青年女性

役員研修会



**2022/3/25~26 開催!**  
**総勢32名の仲間が参加!**

1987年4月、国鉄分割・民営化により、全国6社の旅客会社と1社の貨物会社が発足しました。そして、国鉄時代から繰り返されてきた鉄道労働運動の対立と分裂の歴史に終止符を打ち、新たなJR労働運動の創造を目指して、JR連合は1992年5月に結成し、今年で30年となります。

これまでの諸先輩方の努力によって、JRを代表する産業別労働組合となっていますが、様々な課題があるのも事実です。魅力あるJR産業をつかっていくためには、さまざまな政策課題の解決に取り組む必要があります。そのためには、政治との関わりが重要となります。

本研修会を通じて、今後も学習を続けていく「気付き」や「きっかけ」にしていきます。



立憲民主党

泉代表のご挨拶

JR連合

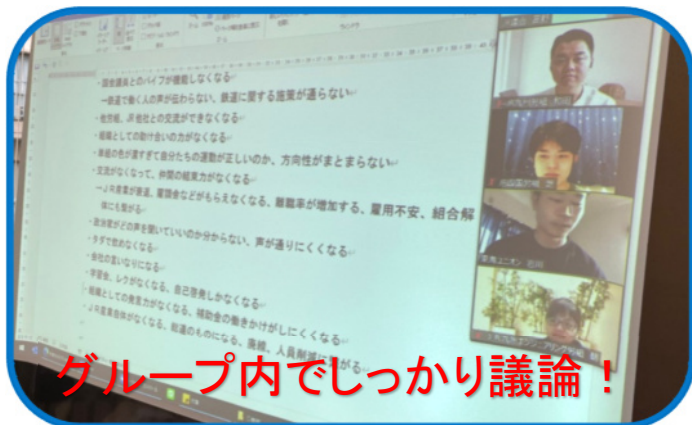
荻山会長の講義



- ◆開講式・オリエンテーション
- ◆講義① 「JR連合の政策活動について」  
森安祐貴 交通政策部長
- ◆講義② 「JR連合の組織課題について」  
相良夏樹 組織・政治部長
- ◆特別講義 「JR産業の転換期に求められること」  
荻山市朗 会長
- ◆グループディスカッション  
「JR連合の将来を担う青年女性役員として必要なこと」



リモートにて  
JR四国労組から  
4名参加！！



本研修は昨年に引き続き、ウェブ会議システムを利用しリモート参加者(16名)を含む、32名が参加。1日目には立憲民主党泉代表よりご挨拶を受けました。その後、1、2日目にかけてJR連合荻山会長、森安交通政策部長、相良組織部長の講義を受け、JR連合結成30周年・JR産業の転換期にあたって直面する課題に対し、私たちに求められること、私たちがなすべきこと、そして政治との関わりや関係議員との連携などについて学習しました。※現地参加者は国会見学、懇親会を実施！

2日目は、リモートグループ2つを含む6つのグループに分かれグループディスカッションを行い、「JR連合の将来を担う青年女性役員として必要なこと」について話し合いました。

今回の研修会で理解度を深める事ができたと同時に、共に活動を行っている全国の仲間が集まる事により、横の繋がりを感ずることのできた大変有意義な研修会となりました。